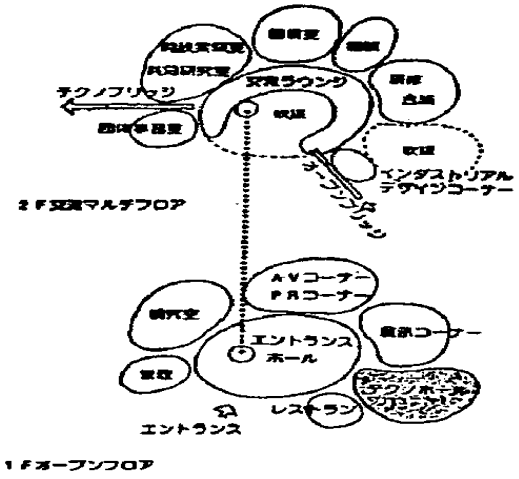
提案表現の制限について

プロポーザルは、設計者の課題に対する基本的な考え方を聞いて、設計を委託する「人（設計者）」を選ぶ方式である。したがって、コンペのような「設計案」を選ぶものと異なるため、提案はあくまでも文章により作成すること。ただし、文章のみでは提案が理解されづらいこともあるため、設計図面、透視図、鳥瞰図、模型写真等の挿入は認められないが、文章を補完するイラストやイメージ図等の概念図の挿入は認める。

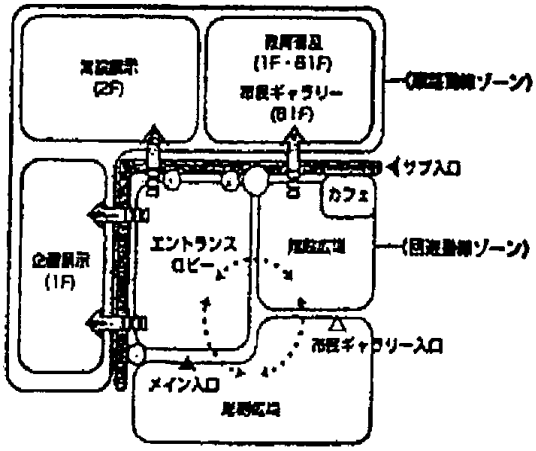
なお、技術提案にあたっては以下の提案表現例を参考すること。

また、提案表現の制限に抵触する図面等の挿入があった場合は、減点の対象とする場合がある。

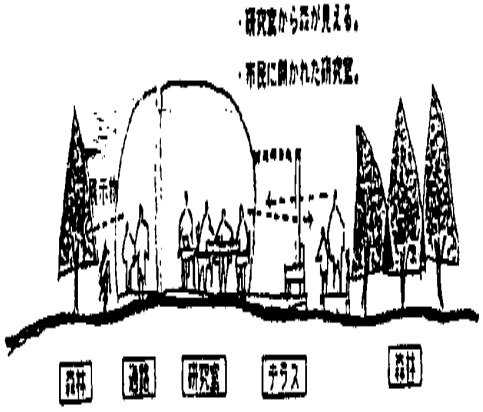
【プロポーザルで提案可能な表現例】



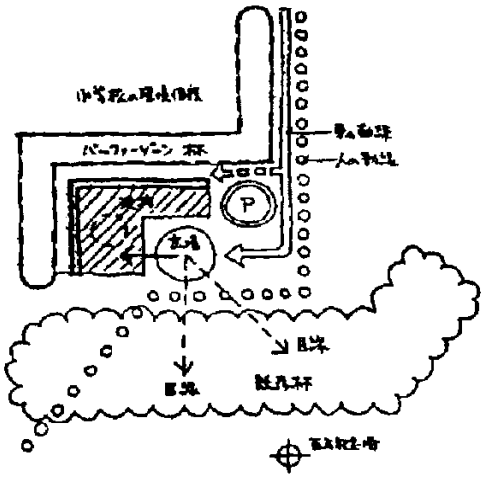
ホール、ラウンジを中心にするという設計の考え方を表現しているものである。



人の動線を説明するときに、それを補うために建物内の簡単なゾーニングの考え方を表現しているものである。



建物と周辺環境との関係をイメージで表現しているものであり、建物の具体的な形状は表現していない。



人の動線を説明するときに、それを補うために敷地内の簡単なゾーニングの考え方を表現している。